

都市再生整備計画 事後評価シート  
原村地区

平成30年2月

長野県諏訪郡原村

※記入にあたっての留意事項(このページは、提出の際には添付する必要はありません。)

本様式の記入にあたって、下記の点に留意してください。

1. モニタリング(一部の結果)・事後評価・フォローアップの3段階について、記入欄を色分けで区分しています。それぞれの結果を該当欄に記入してください。

段 階	内 容	時 期	記入欄の 色分け
《第一段階》モニタリング	事業期間中に、実施状況、数値目標の達成状況、効果発現の状況を確認する	交付期間中の 任意の時期	
《第二段階》事後評価	評価項目の計測（見込みの値でも可）、効果発現に関わる要因、今後のまちづくり方策等を整理する	最終年度	
《第三段階》フォローアップ	事後評価時に「見込みの値」としたものに対して、事業終了後に、確定した数値で再度整理する	原則、交付終了の翌年度	

2. 記入項目の詳細や記入例については「事後評価シート作成の手引き」を参照してください。
3. 記入欄が不足する場合には、適宜、欄(枠)を拡張するなどして記入して下さい。
4. 国への提出後、必要に応じて再提出等のために修正を行う場合は、従前の記載内容は削除せず、消し線を用いて下さい

例1)数値等の軽微な修正

【修正前】 ○○整備事業 面積 2,300㎡

【修正後】 2,800㎡

例2)文章の修正

【修正前】 ……するものとし、特に、●●館のイベント等に関する情報を発信していくものとする。

【修正後】 特に、●●館のイベント等に関する最新情報をリアルタイムでHP上から提供していくものとする。

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県		市町村名	原村		地区名	原村地区		面積	3,800ha		
交付期間	平成24年度～平成28年度		事後評価実施時期	平成29年度		交付対象事業費	395.5	国費率	0.4			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名									
	基幹事業 提案事業		道路整備事業、公園整備事業、案内板等整備事業、移住促進事業									
	当初計画から削除した事業		事業名				削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
	新たに追加した事業		事業名				-			-		
	交付期間の変更		当初変更		平成24年度～平成28年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-		
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	目標達成度				
	指標1	人口	人	7,879	H22	8,000	H28		△	あり ● なし	目標は未達成であるが、生活環境の整備や移住促進に力を入れたことにより、人口は増加傾向にある。	平成30年4月
	指標2	観光施設利用者数	人/年	245,610	H22	250,000	H28		×	あり ● なし	計画当初は、指標数値は増加傾向にあり、目標値を上回っていたが、平成25年をピーク(285,471人)に減少し、平成27年度から目標値を下回った。御蔵山の噴火等により、長野県への観光意識を低下したと思われる。	平成30年7月
指標3	公共施設等における温室効果ガス排出量	kg-CO2/年度	2,842,919	H22	2,644,000	H28		○	あり ● なし	従前値が平年に比べ高く算出されたことにより、目標値も高い値が設定されていた。また、太陽光パネル設置事業や道路整備事業の効果も影響し、目標が達成された。		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1	住民基本台帳に記載のある20代及び30代の人口	人	1,557	H22						子育て世代の確保による年代バランスの維持を課題としながらも、その課題を解決するための事業が行われていないため指標数値は悪化している。今後においても改善する見込みはない。	平成30年4月
	その他の数値指標2	生産年齢(15歳～64歳)における平均所得額	円	2,014,109	H22						平均所得額は増加傾向にあるが、観光客数は減少傾向にあるため、観光客によって地域経済が活性化したとは考えづらい。増加傾向の理由としては、最低賃金の上昇などが考えられる。	平成30年7月
その他の数値指標3	原村診療所における年間患者数	人/年度	11,861	H22						住民の高齢化が進んでいるが、公園整備事業等による生活環境の向上が健康増進に寄与したと思われる。	平成30年9月	
4)定性的な効果発現状況												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等	
	モニタリング		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	住民参加プロセス		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					
	持続的なまちづくり体制の構築		なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					

※1 目標達成度 ○:評価値が目標値を上回った場合  
 △:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合  
 ×:評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

## 様式2-2 地区の概要

原村地区 都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 人も地域も輝く緑豊かな村づくり 小目標① 人口増加による活性化と持続性ある発展を図る 小目標② 観光客増加による地域経済の活性化を図る 小目標③ エコビレッジ(環境や心身にやさしい村)を構築する	人口	単位:人	7,879	H22	8,000	H28	7,930	H28	
	観光施設利用者数	単位:人/年	245,610.0	H22	250,000.0	H28	243,731.0	H28	
	公共施設等における温室効果ガス排出量	単位:kg-CO2/年度	2,842,919	H22	2,644,000	H28	2,000,273	H28	
	住民基本台帳に記載のある20代及び30代の人口	単位:人	1,557	H22			1,366	H28	
	生産年齢(15歳~64歳)における平均所得額	単位:円	2,014,109	H22			2,248,816	H28	
	原村診療所における患者数	単位:人/年度	11,861	H22			10,704	H28	
まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全村の人口は増加傾向にあるが、20代から30代の子育て世代の人口は著しく減少している。</li> <li>・近年の観光客数は減少傾向にある。</li> </ul>								
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住促進事業の強化</li> <li>・子育て世代への支援</li> <li>・観光施設の集客力の向上</li> </ul>								

# 都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値	●		公共施設等における温室効果ガス排出量 従前値2,177,568 目標値2,030,000	公共施設等における温室効果ガス排出量 従前値2,842,919 目標値2,644,000	算出の誤り
D. その他( )		●			

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影 響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	村道7048号線の整備事業 (中央高原別荘地)	40.0	L=1,650m	48.9	L=1,647m	労務単価、消費税の増による	影響なし	●	
道路	村道9002号線の整備事業 (広河原線)	112.0	L=1,500m	126.8	L=1,431m	労務単価、消費税の増による	影響なし	●	
道路	村道7254号線の整備事業 (大かつら線)	26.6	L=230m	35.4	L=321m	事業内容の増による	影響なし	●	
道路	村道5187号線の整備事業 (山道線)	30.0	L=1,100m	25.0	L=1,072m	入札差金による事業費の減	影響なし	●	
道路	村道2007号線の整備事業 (エコライン)	60.0	L=2,700m	79.2	L=2,485m	労務単価、消費税の増による	影響なし	●	
道路	村道6556号線の整備事業 (南原白山線)	7.3	L=153m	7.0	L=137m	事業内容の減による	影響なし	●	
道路	村道7080号線の整備事業 (ペンション農場線)	-	なし	14.9	L=320m	平成26年に計画変更して追加	影響なし	●	
公園	阿久遺跡公園環境整備事業	16.4	伐採32,000㎡ 他	15.5	伐採32,000㎡ 他	事業の見直しによる事業費の減	影響なし	●	
公園	ハケ岳自然文化園眺望確保事業	2.7	伐採11,000㎡	0.0		平成25年に提案事業へ計画変更	-		
公園	ハケ岳自然文化園太陽光パネル設 置事業	26.0	パネル100枚	0.0		平成25年に提案事業へ計画変更	-		
地域生活基盤 施設	阿久遺跡案内板整備事業	0.2	案内板4基	0.2	案内板4基	なし	-	●	
地域生活基盤 施設	ペンション区内案内板整備事業	-	なし	2.1	案内板17基	平成26年に計画変更して追加	影響なし	●	
高質空間形成 施設	ハケ岳森の小径案内板等整備事業	4.9	案内板3基、道標30基	4.5	案内板37基	入札差金による事業費の減	影響なし	●	
高質空間形成 施設	藤尾根の小径整備事業	-	なし	3.5	L=350m	平成25年に計画変更して追加	影響なし	●	

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影 響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	阿久遺跡利用促進事業	-	なし	0.5	案内板1基	平成25年に基幹事業から変更	-	●	
	八ヶ岳自然文化園眺望確保事業	-	なし	5.7	伐採8,718㎡	平成25年に基幹事業から変更	-	●	
	八ヶ岳自然文化園太陽光パネル設置事業	-	なし	25.5	パネル75枚	平成25年に基幹事業から変更	-	●	
	移住促進事業	1.5	移住希望者用パンフレット作成 他	0.3	移住希望者用パンフレット作成	事業の見直しによる事業費の減	影響なし	●	
	森の小径ウォーキング推進事業	0.5	ガイドブック印刷製本	0.0		平成26年に計画変更して削除	影響なし		
	エコビレッジ推進事業	3.1	エコビレッジ基本計画策定業務	0.0		平成26年に計画変更して削除	影響なし		
	八ヶ岳自然文化園野草園遊歩道整備事業	-	なし	0.5	ロープ772m、杭418本	平成26年に計画変更して追加	影響なし	●	

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画		
地域住宅支援事業		村営住宅(2棟8戸)の建築、駐車場(8台分)の整備、やつがね公営住宅撤去	128.0	0.0	平成26年4月1日～ 平成29年3月31日	-	事業中止	

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
			基準年度	基準年度	基準年度	基準年度	目標年度	目標年度	モニタリング	事後評価	事後評価	あり	なし			
指標1	人口	人	年度末時点の住民基本台帳による。	7,461	12	7,879	22	8,000	28	モニタリング					○	
										事後評価	確定 ●	7,930	事後評価	△		
指標2	観光施設利用者数	人/年	村内観光施設の利用者数の合計により算出する。	-	-	245,610	22	250,000	28	モニタリング					○	
										事後評価	確定 ●	243,731	事後評価	×		
指標3	公共施設等における温室効果ガス排出量	kg-CO2/年度	公共施設の燃料消費量や電気代等により算出する。	-	-	2,842,919	22	2,644,000	28	モニタリング						
										事後評価	確定 ●	2,000,273	事後評価	○		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	目標は未達成ではあるが、平成28年度から着実に増加しており、1年以内に数値目標を達成できる可能性は大きい。	
指標2	目標は未達成であり、近年の数値は減少傾向にあるため、1年以内の目標達成は難しい。	
指標3	特殊事情により基準年度において突出した数値が算出されたため、目標値も高く設定され、目標達成が容易であった。	特殊事情を考慮した目標値の設定が必要であった。

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○ : 評価値が目標値を上回った場合

△ : 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

× : 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値(ア)		従前値(イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項(指標計測上の問題点、課題等)
			基準年度		基準年度		モニタリング	事後評価			
その他の数値指標1	人	住民基本台帳に記載のある20代及び30代の人口	1,625	12	1,557	22	モニタリング			子育て世代の確保により、年代バランスが維持されているか把握するため。	
							事後評価	確定 ●	見込み		
その他の数値指標2	円	生産年齢(15歳～64歳)における平均所得額	2,495,527	13	2,014,109	22	モニタリング			地域経済の活性化の状況を把握するため。	
							事後評価	確定 ●	見込み		
その他の数値指標3	人/年度	原村診療所における患者数	15,095	12	11,861	22	モニタリング			心身への効果を把握するため。	
							事後評価	確定 ●	見込み		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

なし
----

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況		実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			
	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった (理由 )			

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況		実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
			i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
なし	予定どおり実施した				
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由 )				
	予定どおり実施した				
	予定はなかったが実施した				
	予定したが実施できなかった (理由 )				

### (3) 効果発現要因の整理

#### 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
原村地区活性化部会	原村役場 企画振興係、建設係、商工観光係、文化財係	平成29年9月	企画振興係

#### 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標3		その他の数値指標2		その他の数値指標3			
指標名		公共施設等における温室効果ガス排出量		生産年齢(15歳～64歳)における平均所得額		原村診療所における患者数			
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	村道7048号線の整備事業(中央高原別荘地)	○	従前値が平年に比べ高く算出されたことにより、目標値も高い値が設定されていた。また、太陽光パネル設置事業や道路整備事業の効果も影響し、目標が達成された。	○	平均所得額は増加傾向にあるが、観光客数は減少傾向にあるため、観光客によって地域経済が活性化したとは考えづらい。増加傾向の理由としては、最低賃金の上昇などが考えられる。	—	住民の高齢化が進んでいるが、公園整備事業等による生活環境の向上が健康増進に寄与したと思われる。		
	村道9002号線の整備事業(広河原線)	○		○		—			
	村道7254号線の整備事業(大かつら線)	○		○		—			
	村道5187号線の整備事業(山道線)	○		○		—			
	村道2007号線の整備事業(エコライン)	○		○		—			
	村道6556号線の整備事業(南原白山線)	○		○		—			
	村道7080号線の整備事業(ペンション農場線)	○		○		—			
	阿久遺跡公園環境整備事業	—		△		○			
	阿久遺跡案内板整備事業	—		△		○			
	ペンション区内案内板整備事業	—		△		—			
提案事業	八ヶ岳森の小径案内板等整備事業	—	△	○					
	藤尾根の小径整備事業	—	△	○					
	阿久遺跡利用促進事業	—	△	○					
	八ヶ岳自然文化園眺望確保事業	—	△	○					
	八ヶ岳自然文化園太陽光パネル設置事業	◎	—	—					
関連事業	移住促進事業	—	—	—					
	八ヶ岳自然文化園野草園遊歩道整備事業	—	△	○					

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	効率的な行政運営を行い、省エネルギーに努める。		今後も生活環境の向上に努める。
-------	-------------------------	--	-----------------

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1			指標2			その他の数値指標1		
指標名		人口			観光施設利用者数			住民基本台帳に記載のある20代及び30代の人口		
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	村道7048号線の整備事業(中央高原別荘地)	△	目標は未達成であるが、生活環境の整備や移住促進に力を入れたことにより、人口は増加傾向にある。	II	△	計画当初は、指標数値は増加傾向にあり、目標値を上回っていたが、平成25年をピーク(285,471人)に減少し、平成27年度から目標値を下回った。御嶽山の噴火等により、長野県への観光意識を低下したと思われる。	III	-	子育て世代の確保による年代バランスの維持を課題としながらも、その課題を解決するための事業が行われていないため指標数値は悪化している。今後においても改善する見込みはない。	I
	村道9002号線の整備事業(広河原線)	△								
	村道7254号線の整備事業(大かつら線)	△								
	村道5187号線の整備事業(山道線)	△								
	村道2007号線の整備事業(エコライン)	△								
	村道6556号線の整備事業(南原白山線)	△								
	村道7080号線の整備事業(ペンション農場線)	△								
	阿久遺跡公園環境整備事業	△								
	阿久遺跡案内板整備事業	△								
	ペンション区内案内板整備事業	△								
	八ヶ岳森の小径案内板等整備事業	△								
藤尾根の小径整備事業	△									
提案事業	阿久遺跡利用促進事業	△	△							
	八ヶ岳自然文化園眺望確保事業	△	△							
	八ヶ岳自然文化園太陽光パネル設置事業	-	-							
	移住促進事業	△	△							
	八ヶ岳自然文化園野草園遊歩道整備事業	△	△							
関連事業										

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類I: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類II: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類III: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類IV: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	引き続き生活環境の整備や移住促進事業に取組む。	イベントの企画・開催や効果的なPRを行うとともに、イベントの需要を調査し、需要に見合ったイベント・施設運営を行う。	子育て世代をターゲットにした新たな事業を行う。
------------------	-------------------------	---	-------------------------

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
原村地区活性化部会	原村役場 企画振興係、建設係、商工観光係、文化財係	平成29年9月	企画振興係

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
人口減少社会に対し、人口維持及び子育て世代の確保による年代バランスの維持を図る。	・人口は維持されている。	・子育て世代の確保を図る。	—
観光の低迷に対し、観光客増加を図る。	—	・観光施設の集客力の向上	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	移住促進事業の強化	全国の移住希望者に向けて原村の魅力や施策を発信する。	移住ガイドブック等の更新

B欄 改善策  ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	子育て世代への支援	子育て世代に対する原村への移住を促進するための支援を検討する。	子育て世代を支援する事業の強化及び新設。
	観光施設の集客力の向上	観光施設の集客に効果のある方策を検討する。	更なる観光施設の充実。 効果的に情報発信するための方策を検討し、実行する。

フォローアップ又は次期計画等  
において実施する改善策  
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5ー参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

なし

添付様式5ー④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2ー①、2ー②に記載した全ての指標について記入して下さい。  
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2ー①、2ー②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画			
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み		あり	なし	予定時期	計測方法		
指標1	人口	人	7,879	22	8,000	28	確定	●	7,930	△	あり	○	→	平成30年4月	平成29年度末における数値により達成状況を確認する。
指標2	観光施設利用者数	人/年	245,610	22	250,000	28	確定	●	243,731	×	あり	○	→	平成30年7月	平成29年における数値により達成状況を確認する。
指標3	公共施設等における温室効果ガス排出量	kg-CO2/年度	2,842,919	22	2,644,000	28	確定	●	2,000,273	○	あり	○	→		
その他の数値指標1	住民基本台帳に記載のある20代及び30代の人口	人	1,557	22			確定	●	1,366				→	平成30年4月	平成29年度末における数値により達成状況を確認する。
その他の数値指標2	生産年齢(15歳～64歳)における平均所得額	円	2,014,109	22			確定	●	2,248,816				→	平成30年7月	平成29年における数値により達成状況を確認する。
その他の数値指標3	原村診療所における患者数	人/年度	11,861	22			確定	●	10,704				→	平成30年9月	成果説明の数値を用いる。

## 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		目標値の設定に当たっては、適切に設定する。
	うまく いかなかった点	目標値が適切でないものがあつた。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		課題解決のための事業を行わなければならない。
	うまく いかなかった点	目標・課題と事業の整合性が保たれていない。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点		目標や成果を確認しながら、計画の修正が必要である。
	うまく いかなかった点	目標が未達成であることから、目標や計画の見直しによる修正が必要であつた。	
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

### 添付様式6－参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

なし

## (5) 事後評価原案の公表

### 添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	村ホームページに掲載	平成29年11月1日～11月30日	平成29年11月1日～11月30日	担当部署への郵便 FAX 電子メール 等	総務課企画振興係
広報掲載・回覧・個別配布	—	—	—		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	窓口閲覧	平成29年11月1日～11月30日	平成29年11月1日～11月30日		

住民の意見	<p>①都市再生の整備計画であるはずが、ほとんどの事業において居住者の少ない(いない)「保健休養地」や「遺跡収蔵庫周辺」において実施されています。住民が暮らしている生活地域が明らかに再生する(良くなる)ような事業を実施してほしかったです。</p> <p>②地区名の設定がおかしいです。自治体名+地区 という名称はあり得ません。地名+地区の 原地区が適正です。次回は是正してください。</p> <p>③何でも市町村が行うのではなく、都市の再生なのだから、市町村の枠を超えて県等が広域的に実施することが必要ではないでしょうか。</p>
-------	---

## (6) 評価委員会の審議

### 添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	松本大学 総合経営学部 教授 山根 宏文	平成30年2月	総務課企画振興係	原村社会資本整備総合交付金評価委員会設置要綱	独自に設置
その他の委員	原村商工会 会長 小平 恒夫 原村議会総務産業常任委員 委員長 宮坂 早苗				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・特になし。
	成果の評価	・指標の達成状況の確認に係る手続きについて、適切に行われたことが確認された。
	実施過程の評価	・特になし。
	効果発現要因の整理	・各事業の効果について確認した。
	事後評価原案の公表の妥当性	・特になし。
	その他	・特になし。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であると認められた。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・ハケ岳の登山環境やハケ岳美術館への案内の整備を行うとともに、観光ガイドの育成し、公共交通の充実させることで観光振興を図るべきという意見があった。 ・移住希望者に向けた情報提供を充実させるとともに、子育て世代への支援の強化が必要であるという意見があった。
	フォローアップ	・今後のフォローアップ計画について、来年度において実施することが確認された。
	その他	・特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
その他	・特になし。	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

# 都市再生整備計画(第6回変更)

はらむら  
原村地区

長野県 はらむら  
原村

平成28年12月



都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>目標1. 人口増加による活性化と持続性ある発展を図る</p> <p>①道路を整備し、生活環境の向上を図る            ②自然に親しみながら様々な年代が交流できる場を整備する            ③移住の受け皿として村営住宅及び生活環境を整備する</p>	<p>【基幹事業】            道路事業：村道7048号線(中央高原則荘地)            道路事業：村道9002号線(広河原線)            道路事業：村道7254号線(大かつら線)            道路事業：村道5187号線(山道線)            道路事業：村道2007号線(エコーライン)            道路事業：村道6556号線(南原白山線)            道路事業：村道7080号線(ペンション農場線)            公園事業：阿久遺跡公園環境整備            地域生活基盤施設事業：阿久遺跡案内板整備            高質空間形成施設事業：ハヶ岳森の小径案内板等整備            【提案事業】            地域創造支援事業：阿久遺跡利用促進            地域創造支援事業：移住促進事業</p>
<p>目標2. 観光客増加による地域経済の活性化を図る</p> <p>①「ウォーキングによる心とからだのリフレッシュ」をキーワードとした観光メニューを充実する            ②観光施設への道路を整備する</p>	<p>【基幹事業】            道路事業：村道9002号線(広河原線)            道路事業：村道2007号線(エコーライン)            道路事業：村道7080号線(ペンション農場線)            道路事業：阿久遺跡公園環境整備            地域生活基盤施設事業：阿久遺跡案内板整備            地域生活基盤施設事業：ペンション区案内板整備            地域生活基盤施設事業：ハヶ岳高原風景案内板整備事業            高質空間形成施設事業：ハヶ岳森の小径案内板等整備            高質空間形成施設事業：藤尾根の小径整備            【提案事業】            地域創造支援事業：阿久遺跡利用促進            地域創造支援事業：ハヶ岳自然文化園眺望確保            地域創造支援事業：ハヶ岳自然文化園野草園遊歩道整備事業(提案事業)</p>
<p>目標3. エコビレッジ(環境や心身にやさしい村)を構築する</p> <p>①公民協働で新エネルギー・省エネルギーに関する計画を推進するために、公共施設等における温室効果ガス削減に取り組み、住民への普及啓発を行う新エネルギー・省エネルギーを普及啓発する            ②「ウォーキングによる心とからだのリフレッシュ」の場を充実する</p>	<p>【基幹事業】            道路事業：村道9002号線(広河原線) (基幹事業/道路)            道路事業：村道7254号線(大かつら線) (基幹事業/道路)            道路事業：村道6556号線(南原白山線) (基幹事業/道路)            公園事業：阿久遺跡公園環境整備 (基幹事業/公園)            成施設事業：ハヶ岳森の小径案内板等整備 (基幹事業/高質空間形成施設)            高質空間形成施設事業：藤尾根の小径整備 (基幹事業/高質空間形成施設)            【提案事業】            地域創造支援事業：阿久遺跡利用促進 (提案事業)            地域創造支援事業：ハヶ岳自然文化園眺望確保 (提案事業)            地域創造支援事業：ハヶ岳自然文化園太陽光パネル設置 (提案事業)</p>
<p>その他</p>	



都市再生整備計画の区域

原村地区(長野県原村)	面積	3800 ha	区域	原村全域
-------------	----	---------	----	------

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。

